

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 中村 清志

- I 開催年月日 令和 5 年 5 月 25 日 (木)
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 43 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎中村 清志 ○田中 勝文 新開 広恵
出町 讓 埜田 悦子 林 貴文
本田 利麻 福井 直樹 金森 一郎
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [議長] 中川 加津代
- [副議長] 酒井 善広
- [説明員] 別紙名簿のとおり
- [委員外議員] なし
- [事務局職員] 笹島 永吉 高嶋 史恵 野口 広大
- [傍聴者] 1 名

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[都市創造部]

- 。令和 5 年度都市創造部所管事業の予算内示について

〈 委員から、次のとおり質疑があった。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【令和 5 年度都市創造部所管事業の予算内示について】

- 市営住宅住戸改善事業について、この事業は主に外壁工事であるが、高齢者世帯に向けた階段の手すり等、バリアフリー化への対策は考えているのか。また、空き家バンク住宅取得支援事業について、各自治会で空き家対策調査を行っているが、現在の空き家の登録物件の状況と、有効活用への対策は。
- △ 市営住宅の階段の手すりの設置状況については、用途廃止の対象となっている東古府市営住宅と一宮市営住宅以外のすべての市営住宅において対応済みである。空き家の登録物件の状況については、市のホームページで随時、登録件数を掲載しており、

令和4年度の登録件数は55件で、38件が成約した件数となっている。引き続き、空き家・空き地情報バンクを活用し、空き家の供給の促進に努めてまいりたい。

[上下水道局]

○ 令和5年度上下水道局所管事業の予算内示について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

2 その他について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【G7富山・金沢教育大臣会合における記念品について】

- G7富山・金沢教育大臣会合の記念品について、本市の伝統工芸品が選定された経緯は。また、どのような商品なのか。
- △ G7富山・金沢教育大臣会合の記念品について県に確認したところ、記念品4点のうち、本市から選定された商品は、「漆器くにもと」の螺鈿のピンバッチ、「株式会社山口久乗」のおりん、「株式会社ナガエ」の錫製の箸置きの3点である。選定の経緯としては、伝統工芸品の中から、SDGsという世界的に取り組むべき内容に即した商品など、総合的な判断で、県も参画する実行委員会において選定されたものと伺っている。これらの商品は、海外から富山にお越しいただいたゲストへの記念品として、市内の伝産品のPRとともに、市内企業の技術を海外にPRできる良い機会ということで、市内企業からも喜びの声をいただいている。

【高岡クラフト・旅のおもてなし事業について】

- 令和4年度に実施した高岡クラフト・旅のおもてなし事業の実績は。
- △ 高岡クラフト・旅のおもてなし事業については、富山県及び石川県の全域と、飛騨地域を来訪される観光客の方に、本市の魅力の一つであるものづくりのPRを目的とし、その地域で宿泊施設や飲食施設を営む事業者を対象に、市内の伝統工芸品やその技術を生かした商品の購入費用の2分の1を助成する事業として実施した。実績としては、35事業者が約1,300万円分の商品を購入し、市は約650万円を補助した。住所地別では、ほぼ全地域から申請があり、市内の事業者はもとより、和倉温泉や宇奈月温泉などの主要な温泉地の宿泊施設や、県内外の著名なホテルから申請があった。予算額と比べると決算額は少額となったが、著名な温泉地や施設で積極的に採用いただけただけことから、十分に事業の効果があったものと考えている。
- 伝統産業界は市場規模が小さく、昨今の燃料費や原材料費の高騰の影響を受けている。本事業では、富山県及び石川県の全域と、飛騨地域のすべてに納入実績があったこと、また、複数の著名な宿泊施設に採用されたことは、伝統産業界にとって有益であり、高岡のPRにも繋がったことは嬉しく思う。令和6年の秋には、北陸デスティネーションキャンペーンがあり、伝統産業の振興、ものづくりのまち高岡のPRに繋がることを期待し、引き続き伝統産業、ものづくりへの支援をお願いしたい。(要望)

【御旅屋人マーケットについて】

- 令和5年5月の御旅屋人マーケットの入込者数と、各店舗の売り上げは。
- △ 5月21日に開催された第5回御旅屋人マーケットの入込者数は、2,600人となっている。出店者の売り上げについては、現在、アンケートの集計前であり、把握していない。
- これまでの御旅屋人マーケットの入込者数は。
- △ 令和4年10月の第1回が4,200人、11月の第2回が3,000人、5年3月の第3回が3,000人、4月の第4回が1,700人となっている。
- 御旅屋人マーケットの目的は。
- △ 御旅屋人マーケットの目的としては、中心市街地の御旅屋通り商店街で実施することによるまちなかのにぎわいづくりと、御旅屋人マーケットにおけるチャレンジ出店を契機とした新規開業の創出の大きく2点と考えている。
- 第5回のチャレンジ出店の店舗数は。
- △ 第5回の出店者数は22店舗であり、うち5店舗がチャレンジ出店である。
- これまでにチャレンジ出店した店舗の中で、新規開業の件数は。
- △ 現時点では0件だが、開業に向けて、高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU」を活用し、調整している店舗がある。
- 開業に向けて調整している店舗は何件か。
- △ 詳細な調整まで進めているのは1店舗である。
- 「TASU」の開業後の相談件数と、新規開業に至った件数は。
- △ 「TASU」が開業した3月25日から5月20日までの約2か月間における相談件数は115件あり、うち開業に向けて進めている案件は数件あると伺っている。

【高岡の祭りについて】

- 高岡御車山祭、伏木曳山祭、高岡獅子舞大競演会に係る補助金について、高岡市財政健全化緊急プログラム前後で、どのように変わったのか。
- △ 高岡御車山祭や伏木曳山祭については、主に保存会や実行委員会への補助金となっており、プログラム以前から減額していないものもあるが、ライトアップなどのイベントに関しては、他のイベントと同様に減額している。
- △ 高岡獅子舞大競演会については、プログラム前後の詳細は持ち合わせていないものの、コロナ禍も補助金は同額計上していたが、中止若しくは規模の縮小により、減額精算となっている。
- 高岡の祭りを理解してもらい、新たな高岡ファンをつくるのが大事である。市民や祭り関係者の団結を高めるため、対外的なアピールなど、今後も祭りに積極的に注力していただきたい。(要望)

【市営住宅について】

- 市営住宅のバリアフリー化と、LED化への対応状況は。また、市営住宅を退去するにあたって、入居者が設置した網戸とエアコンを撤去する必要があるのか。
- △ 平成13年度以降に建設した市営住宅については、トイレや浴室内の手すりの設置、

廊下幅の確保、段差解消のバリアフリー化は実施済みである。市営住宅の入居希望者が高齢者や障害がある方の場合、バリアフリー化済みの住宅を勧めており、入居者から希望があった場合は、住みかえの対応を行っている。LED化について、令和5年度は、エルパセオハイツのLED化事業を進めていく。LED化未実施の住宅においては、イニシャルコストとランニングコストを勘案して進めていきたい。退去者の修繕等に関する負担について、エアコンは、8年以上経過し状態の悪いものは撤去していただくことになっており、8年以内で状態が良いものはそのまま設置いただく対応としている。網戸は、基本的には残していただくことになっている。

【用水路の安全対策について】

- 市内の用水路全般に関する安全対策の進捗と要望数は。また、立野地区における用水路の安全対策の進捗状況は。
- △ 令和5年度に、用水路の安全対策に係る補助金を創設し、現在、3地区から問い合わせをいただき、具体的な話を進めている。立野地区における安全対策については、4年度にワークショップを開催し、15か所程度の危険箇所を抽出したマップを作成した。現在、どの箇所を優先して対策するかを地元と協議中であり、夏頃を目途に実施していきたいと考えている。
- 用水路の安全対策に係る補助金の助成額が10万円では少ない。さらなる対応が必要では。
- △ 当該補助制度については、ソフトもしくはセミハードに係る対策を想定している。縦断的な長い延長に対する転落防止柵の設置は、高額になり、期間も要するため、10万円を実施できるラバーポールの設置や白線の設置などについて、補助することを考えている。

【高岡テクノドーム別館整備について】

- 高岡テクノドーム別館に係る工事入札が不調となり、報道では、後日、知事が関係各所に意見を伺い、今後、取り組むこととされている。現状、市で把握していることは何か。また、市から県に働きかけることはあるのか。
- △ 高岡テクノドーム別館の本体工事の1回目の入札については、応札がなく、不調に終わったと報道されている。県に確認したところ、現在、土木部において、入札不調となった原因を分析していると伺っており、市としては、当初予定していた完成時期から遅れることなく進めていただきたいと思っている。現状、県から市に案内等はないが、引き続き、県と連携を密にして対応してまいりたい。

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- 令和5年度連休中等祭事・イベントにおける観光客等入込数について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【令和5年度連休中等祭事・イベントにおける観光客等入込数について】

- 伏木曳山祭の入込数は、前回よりかなり大きく伸びた。令和5年度の栈敷席の申し込み数は。
- △ 5年度は、1部・2部で各368席を設け、4年度の75席を大きく上回る席数を設置した。第1部については、S席8,000円、A席4,000円で、両方とも完売した。大盛況で皆さんに購入いただき大変喜ばしく思っている。第2部については、S席4,000円、A席2,000円で、S席が6割ほど、A席が5割ほどの販売という結果であった。1部と比べれば少なかったが、午後10時半からの開催という点を踏まえると、一定の成果はあったものと考えている。
- 栈敷席については、「加賀前田御膳」と組み合わせたツアーを企画し、好評であったと伺っている。2部については、開催時間も遅いこともあり、雨が降った場合は寒いなど、購入しづらい点もあるとは思うが、2部にも人気が集まるような、施策を検討し、展開していただきたい。また、祭りに対しては、祭りの関係者への支援と、観光への取り組みの2つの視点に、注力していただきたい。(要望)

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（28名）

産業振興部長	式 庄 寿 人	都市創造部長	赤 阪 忠 良
産業振興部次長	堺 啓 央	都市創造部次長	梶 本 敏 規
産業振興部次長	長 久 洋 樹	都市創造部次長	西 條 正 輝
産業振興部参事（兼務）	西 條 正 輝	都市創造部次長 都市計画課長	山 森 久 史
産業企画課長	今 方 順 哉	景観みどり課長	江 尻 典 世
商業雇用課長	中 川 正 人	道路整備課長	中 出 裕 嗣
観光交流課長	森 川 朋 子	土木維持課長	割 田 一 郎
農業水産課長	永 井 正 之	建築政策課長	氷 見 和 人
農地林務課長	横 山 太 一	営繕課長	井 林 哲 雄
みなと振興課長	車 忠 宏	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂 徳
地域振興交流課長	有 栖 友 広		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
農業委員会事務局長（併任）	堺 啓 央	上下水道局次長	五 十 里 康 夫
		上下水道局参事	川 渕 利 直
		総務課長	亀 岡 勝 彦
		営業課長	熊 本 敬 二
		水道工務課長	片 岡 利 行
		下水道工務課長	寺 井 義 則
		施設維持課長	高 林 隆